

2017年12月

留学の利点

滝田 和己

12月となり、今年最後のレポートとなります。厳しい寒さはまだまだ続きますが、日本ではクリスマスや新年に向けての準備等で、毎年年末には賑やかな雰囲気でも包まれると思います。しかし中国では元旦よりも旧正月（2018年は2月16日）の方を盛大に祝い、クリスマスにはあまりイルミネーション等を飾らないので平日とあまり変わらない年末を過ごしました。もちろん少しは祝いますが、盛り上がりは日本と比べたら物足りない感じがします。

最近平凡と生活している感覚を覚えてきました。9月頭の授業開始からすでに4ヶ月が経ち、中国での生活に対しての特別感がなくなってきたからです。しかし貴重な留学生活ができるのも埼玉県が我々に機会を与えてくれたこと、東洋大学が私のためにこの事業を教えていただきかつ準備を手伝ってくれたこと等、周りの支援があったからです。1年しかない留学生活を無駄にすることがないように、初心を忘れずに毎日充実した日々を送りたいです。また4ヶ月中国で過ごして、この留学事業に参加して本当に良かったなと心から思いました。

1年の終わりでもある今月には、私が素直に感じた留学の利点、良かったこと、学べたこと等について述べたいと思います。この中国派遣事業に限らず他の長期留学に共通するところのあると思うので、ぜひ参考にさせていただければ幸いです。

まずはメインの留学目的の語学学習について。4ヶ月間中国語の授業を受けて確実に中国語のレベルアップを感じます。その要因にまず先生が皆親切です。質問すれば納得のいくまで丁寧に教えてくれます。英語を話せる先生も多いので初心者にとっても勉強しやすい環境です。また授業以外でも、中国人の友人と会話をする中で、授業や日本での勉強では取り扱わないようなネット上の流行語や難しい言葉も覚えることができます。海外留学での語学学習は毎日の生活が勉強になり、かつ語学の細かい部分までにも手が届くので本当にオススメです。また私は留學生の寮に住んでいるので普段は英語を使います。自分としては英語もきちんと勉強したいので、毎日中国語と英語を使えるこの派遣事業は私にとって、とてもいい語学学習の機会です。

留學生との生活は、語学力アップだけでなく各国の文化も知ることができます。9月レポートでも言及した通り、多くの国の留學生がともに生活しています。まず世界中に友人ができたのはこの留学のおかげです。留學生との生活ではよく「この国ではこの行為は失礼になるのか！」「この国にはこんな習慣があるのか、日本には無い！」と驚かされます。他にも国ごとの言語、宗教、物価も把握することができます。まるで社会科の勉強をしているみたいです。国や地域ごとに人の性格が違うところも面白いです。

中国で幅広い年齢層の人と接すると、年齢によって日本に対する思いの違いを感じました。若い年齢層の人で日本のことが好きな人は思ったよりも多かったです。中国では日本製の化粧品が人気で、日本のアニメも有名です。日本作家の本も中国ではよく売られています。新たに日本語を勉強したいと言う中国人生徒も多いです。こう考えると中国での生活で日本は身近にあり、親しみを感じやすいのだと思います。しかしこれらは最近のことであり、歴史を見返せば日中関係の良し悪しは私たちも知っている通りです。実際に少し高齢の方と交流した時にその話になり、未だ



12月22日は「冬至」
中国では水餃子を食べます